

優秀賞

おるすばんできたよ

鹿児島県 鹿屋市立南小学校二年 今村 彪雅

「ママ、ただいま。」

ぼくは大きなこえでそう言いました。いつもだつたらニコニコ顔のママが、

「ひょうちゃん、おかえり。」

つて言ってくれるのに、今日はシーンとしています。

「ママ、ママ。」

とよんで、ぼくはハッとしました。ママが今日からお仕事に行くつてことを思い出したからです。

弟のこうようも今日からようち園にかよいはじめたのでした。お姉ちゃんは学校からまだ帰ってきません。パパもお仕事で帰ってくるのは、まっくらになつてからです。

ぼくが一人だけのおへやはつても広くてテレビだつて、せんたくきだつて、電気だつてうごいていません。いつもおへやにちらばつているおもちやだつて、ちゃんとすみっこのおもちやばこにしまつてあります。いつもは気にならない時計の、「コチカチ、コチカチ。」

つていう音だけがおへやにひびいています。ぼくはきゆうにさびしくなつてきました。その時テーブルの上に一枚の紙を見つけました。

「ひょうちゃん、おかえり。おやつはドーナツを食べてね。ママが帰つてくるまで、おるすばんおねがいね。」

つてかいてありました。その横にぼくの大すきなチョコドーナツがおいてありました。ぼくはちよつぱりうれしくなりました。だつてこのドーナツ、ママの手作りだもん。ママのドーナツはフワフワしてつてもおいしいんだ。ただどね、一人で食べるドーナツは、あんまりおいしくなかつたんだ。だからぼくはドーナツをのこしたんだ。

「コチカチ、コチカチ。」

また時計の音が聞こえます。ぼくはカメのカメックスにエサをやるつと思いました。水そうのふた

をあけエサをパラパラと入れました。

「パクツ、パクツ。」

とカメックスは口をあけ食べていきます。

「カメックス、おいしいかい。」

つてぼくは聞いてみました。だけどカメックスはなんにも言いません。カメックスがお話できたら楽しいのになあと思いました。

次にこん虫図かんを見ました。いつもは、

「ひょうちゃん、これなあに。」

つてこうようが聞いてきて、二人で見るので、一人はつまらないなあと思いました。

「ただいま。大じょうぶだつた。」

つて大きな声でママとこうようが帰つてきました。お姉ちゃんも帰つてきて、一気におへやが元気にうごきました。

「ひょうちゃん、おるすばんしてくれてありがとう。よくがんばつたね。」

つてママがギョツてだきしめてくれました。ぼくの心はどんどんピカピカになっていきました。そしてみんなでドーナツを食べました。こんどはぼく、せんぶ食べたんだよ。

